

# 都立光丘高等学校令和5年度 教科：地理歴史 科目：日本史A 年間授業計画

教科：地理歴史 科目：日本史A 単位数：2単位

対象学年組：第3学年 理系クラス

教科担当者：（3組：佐々木）（5組：佐々木）（6組：佐々木）

使用教科書：（改訂版 日本史A 人・くらし・未来「第一学習社」）

使用教材：（新詳日本史 「浜島書店」）

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	第1部 私たちの時代と歴史  第2部 近代の日本と世界	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近代社会の発展と19世紀の世界の歴史と関連付けて考察する。</li> <li>・開国前後から近代国家の基礎が形成されるまでの動向を政治的な視点を重視して学ぶ。</li> <li>・尊王攘夷運動や討幕運動などの動きを経て明治維新に至った過程を考察する。</li> </ul>	定期考査、課題、出欠や提出物の提出状況を含めた授業態度を総合的に評価する。	

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5 月	<p>2 明治維新</p> <p>3 近代国家の確立</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近代国家を形成するための諸政策が進められ、立憲国家が成立するまでの過程を社会や文化の変容と関連させて考察する。</li> <li>・明治新政府の諸改革は政府主導によって欧米諸国と対等の地位を引き上げようとするものであるとともに近代への覚醒を促したことに気づかせる。</li> </ul>	<p>定期考査、課題、出欠や提出物の提出状況を含めた授業態度を総合的に評価する。</p>	

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6 月	4 対外関係の変化  5 政党政治の展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 明治初期の外交については、日本の国際的地位を向上させるための対外政策や日本の領土が国際的に画定されたことを考察する。</li> <li>・ 明治新政府の諸改革は政府主導によって欧米諸国と対等の地位を引き上げようとするものであるとともに近代への覚醒を促したことに気づかせる。</li> </ul>	定期考査、課題、出欠や提出物の提出状況を含めた授業態度を総合的に評価する。	

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7 月	5 政党政治の展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>大日本帝国憲法の制定の経緯や内容の特色を通して日本の近代国家の特質を考察する。</li> </ul>	定期考査、課題、出欠や提出物の提出状況を含めた授業態度を総合的に評価する。	

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8 月	夏季休業			

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	<p>第2章 近代産業の発展と両大戦をめぐる国際情勢</p> <p>1 近代産業の発展と社会運動の展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・条約改正や日清・日露戦争前後の対外関係の変化、政党の役割と社会的な基盤に着目して、国際環境や政党政治の推移について考察する。</li> <li>・近代産業の発展については、金融制度の確立や産業基盤の整備を基礎に資本主義が確立したことについて考察する。</li> </ul>	<p>定期考査、課題、出欠や提出物の提出状況を含めた授業態度を総合的に評価する。</p>	

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月	2 第一次世界大戦と日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 諸国家間の対立や協調関係、日本の立場、国内の経済・社会の動向、アジア近代諸国との関係に着目して、二つの世界大戦とその間の内外情勢の変化について学ぶ。</li> </ul>	定期考査、課題、出欠や提出物の提出状況を含めた授業態度を総合的に評価する。	

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11 月	3 国民生活の変化と文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業革命の進行、都市や村落の生活の変化と社会問題の発生、学問・文化の進展と教育の普及、大衆社会と大衆文化の形成に着目して、近代産業の発展と国民生活の変化について考察する。</li> </ul>	定期考査、課題、出欠や提出物の提出状況を含めた授業態度を総合的に評価する。	



	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12 月	4 第二次世界大戦と日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日中戦争の長期化及び国際関係の悪化、戦時体制の強化といった動きに着目して、全体主義的な国家体制が進展し、戦争に拡大していった過程を考察する。</li>   <li>・戦時体制下における経済の統制、学問・思想・教育などの分野における統制により、国民の生活や意識がどう変化したか考察する。</li> </ul>	定期考査、課題、出欠や提出物の提出状況を含めた授業態度を総合的に評価する。	

指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
<p>第3部 現代の日本と世界</p> <p>第1章 現代の日本と世界</p> <p>1 日本の再出発</p> <p>2 独立後の政治と対外関係</p> <p>1月</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第二次世界大戦終結以降の動向を、民主化の過程を通じて考察する。</li> <li>・戦後政治の変遷について、保守と革新の対立の構図の中から理解する。また、戦後の国際体制の中で、日本がどのような外交を展開したか考察する。</li> </ul>	<p>定期考査、課題、出欠や提出物の提出状況を含めた授業態度を総合的に評価する。</p>	

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
2 月				

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 月				